

〈報道関係者各位〉

2016年9月30日

ZEH※1にも対応した災害に強い家 セシボ『家+X』次世代レジリエンスホーム発売 10月1日(土)より全国のアイフルホームにて

株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)は、このたび、北海道基準をクリアする断熱・気密性能を有し、平時には資産価値最大化、生涯コスト最小化を目指し、有事には、家族の命や財産を守ることができるレジリエンス性能を持つ新商品「セシボ『家+X』次世代レジリエンスホーム(以下、セシボ『家+X』)」を2016年10月1日(土)より全国のアイフルホームにて発売を開始します。

LIXIL住宅研究所は、近未来の住まいのあるべき姿を考え、住宅開発に取り組み、定期的にコンセプトホームを発表、その取り組みを商品化に繋げてきました。

今回アイフルホームにて発売開始するセシボ『家+X』は、『住まいの本質は、家族の命と財産を守ること』という考えに立ち返り、「レジリエンス」をキーワードに研究開発に取り組んできたコンセプトホームでの取り組みをできる限り取り入れ、実売商品としたものです。

尚、『家+X』は、当社が持つ別ブランド、フィアスホーム、GLホームにて本年6月より先行して販売を開始しておりましたが、今回アイフルホームで発売することでLIXIL住宅研究所が持つ3ブランド全てで『家+X』を販売することとなります。



「セシボ『家+X』
次世代レジリエンスホーム」外観イメージ

大きな特長は、耐震+制震構造で繰り返しの地震に強く、 U_A 値※2=0.46 W/m²・K以下と北海道基準を上回る高い断熱性能の省エネルギー住宅(①)、停電時でも自立可能なガスエンジンコージェネレーションシステム「エコウィルプラス」(②)、災害に強いエネルギーであるLPガスの活用(LPガスは、価格を地域の都市ガスと同等程度に抑えてご提供する「地域価格連動型エネルギー※3」として提供) (③)となっています。①~③の特長を組み合わせた「HL²スーパーレジリエンスシステム」により、太陽光発電やコージェネレーションシステムによる発電と組み合わせることで、エネルギーを自給自足しながら地域最安光熱費を目指します。

さらにセシボ『家+X』は、水道水の循環備蓄装置の設置、太陽光発電システムを標準仕様とした「レジリエンス性能」を有しています。これにより、平時はもとより、有事には、昼間は太陽光発電で、夜間は「エコウィルプラス」とLPガスで電気を創り、約30日間電気とガスが供給可能となります。なお、水道水の循環備蓄装置の設置は、大人4人で計算しておよそ3日分の飲料水を確保しています。また、セシボ『家+X』は、ZEH対応となっています。

株式会社LIXIL住宅研究所は、住まいにおける「環境」と「安全・安心」への対応を住宅の重要課題と位置づけ、平時と有事を考え「レジリエンス」をキーワードに、次世代の住宅開発に取り組んでいます。

今後は、さらなる「レジリエンス」に関わる商品・サービスの普及・促進に努めていきます。

※1 ZEHとはネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称。住宅の断熱性・省エネ性能を上げること、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅を指します

※2 U_A 値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています

※3 地域価格連動型エネルギーの提供は一部地域では対応していません。

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明
電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com
LIXIL住宅研究所ホームページ URL:<https://www.lixil-jk.co.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

新商品「セシボ『家+X』次世代レジリエンスホーム」概要

【商 品 名】 セシボ『家+X』次世代レジリエンスホーム

【発 売 日】 2016年10月1日(土)

【発 売 ブランド】 アイフルホーム

【販 売 地 域】 全国(北海道、沖縄及び一部地域を除く)

【構 造・工 法】 木造軸組金物工法

【商 品 特 長】

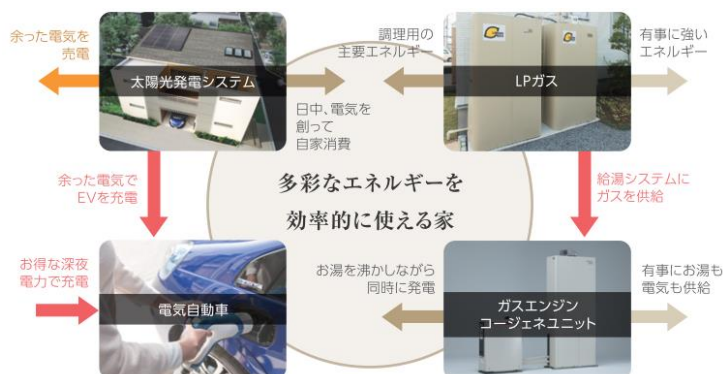
① 「家+自動車」

■家+EV

家で使うエネルギーを家で創る「自給自足」のエネルギーシステムと、EV(電気自動車)が一緒になって光熱費などのライフサイクルコストを抑え、環境にやさしい暮らしが可能です(図1)。※今回販売する商品においては、EVへの充電のみ対応可能となっています。

■次世代ガレージ

車庫に関する不満調査の結果を踏まえ、「雨に濡れずに車から乗り降り可能」で、車椅子でもバリアフリーで室内へ移動できる次世代ガレージを提案しています(写真1)。



[写真1]次世代ガレージ

[図1] 家と自動車とエネルギーの連携イメージ

② 「家+エネルギー」

■北海道基準をクリアする

「省エネルギー性能」と「耐震+制震構造」

阪神・淡路大震災クラスの大きな揺れと、繰り返し起こる余震を想定した実物大実験を防災科学技術研究所にて行い、地震に対する高い安全性を実証した繰り返しの地震に強い技術を採用し、耐震等級3相当の耐震性を実現しています。さらに、 U_A 値^{*}=0.46 W/m²・K以下と北海道基準をクリアした高断熱構造で、地震などの災害や夏の暑さ・冬の寒さから家族と財産を守ります(写真2)。

※ U_A 値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています



[写真2]実物大実験

■「HL²スーパーレジリエンスシステム」

「省エネルギー住宅」+「エコウィルプラス」+「地域価格連動型エネルギー（LPガス）※」をセットで提供する『HL²スーパーレジリエンスシステム』（写真3）により、地域最安光熱費、生涯コスト最小を目指します。

また、有事には災害に強いLPガスが、エコウィルプラスの自家発電を使って、冷蔵庫、LED照明、テレビ、コンセント等に約1kWの電気を供給することで、長期にわたる自立が可能になります（図2）。

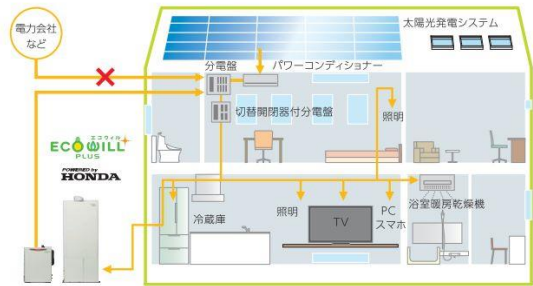
※ 地域の都市ガス価格と同等もしくはそれよりも安くご提供できるシステムになります。

地域価格連動型エネルギーについては今回の商品発売と同時に提供開始となります。

なお、地域価格連動型エネルギーは、一部地域では対応しておりません。



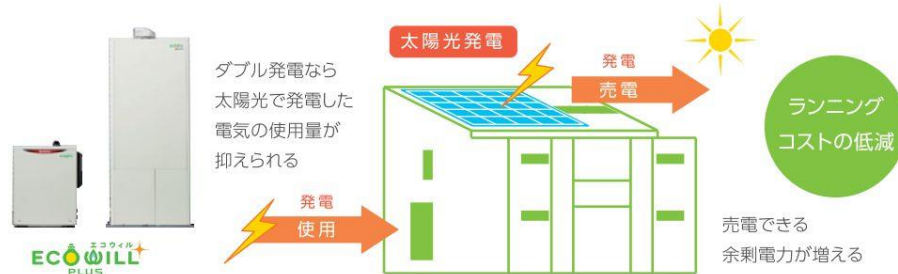
〔写真3〕HL²スーパーレジリエンスシステム



〔図2〕有事のエネルギー自給イメージ

■ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）対応

省エネルギー住宅に、エコウィルプラスと太陽光発電システムを組み合わせた“ダブル発電”でエネルギーゼロを実現します（図3）。ダブル発電なら太陽光で発電した電気の使用量が抑えられ、売電できる余剰電力が増えるため、より省エネで光熱費削減に寄与する仕組みとなっています。



〔図3〕ダブル発電イメージ

■有事の備え～水の確保～

大人4人で計算して約3日分の飲料水を確保できます。万が一、ライフラインが止まっても、復旧までの間、命や健康を維持するための飲料水、生活用水を確保しています（図4）。



〔図4〕水の確保

その他、2015年11月に発表したコンセプトホーム「次世代レジリエンスホーム『家+X』」提案した輻射式冷暖房システム、調音パネル、ナミストサウナ、コミュニケーションボードなどを標準仕様としています。

【限定プラン】 2プラン

プラン01(47坪タイプ) : 3LDK+S

プラン02(82坪タイプ) : 3LDK+S+シアタースペース+セカンドリビング

※坪数は工事面積で算出しています。

【建物本体価格】 建物本体参考価格 : 3,352万円(税込)

※上記価格は『家+X』の基本コンセプトを踏まえた、アイフルホームの標準地域・47坪タイプでの価格となります。詳細は店舗にてご確認ください。